

YUMIKO
KATO

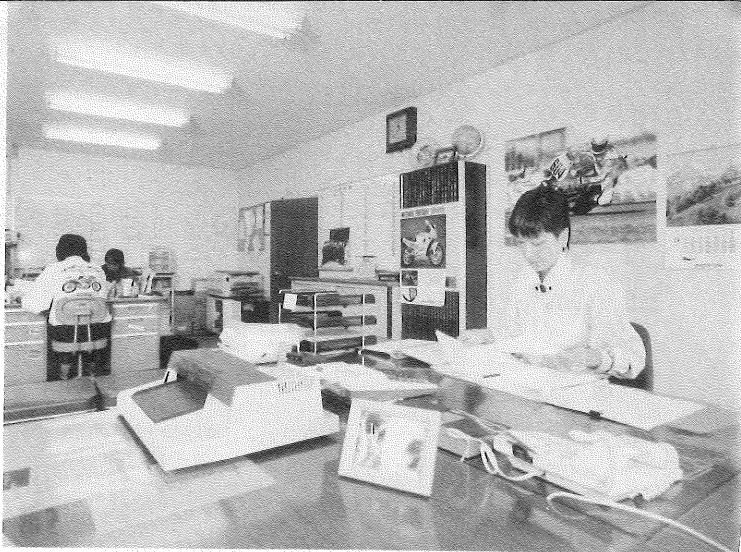
レースは男の仕事、 私は縁の下の力持ち

その頃、ヨシムラという会社はアメリカにあり、事実上日本からは姿を消していた。しかし、さまざまなパーツは姉の南海子さんが嫁いだモリワキでヨシムラの製品として製造し、アメリカへ輸出していた。
「日本でも十分に売れるんじゃないかと思っただけです。で、姉に相談して一緒に商売

しようってことになって。50年7月のモーターサイクリストに半分ずつお金を出し合っって広告を出したら次々と注文がきましてね。うちがヨシムラパーツの関東総代理店、パーツショップアカトウ、そして西の方は、モリワキエンジニアリング。当時は4畳半と6畳のアパートに住んでいたんです

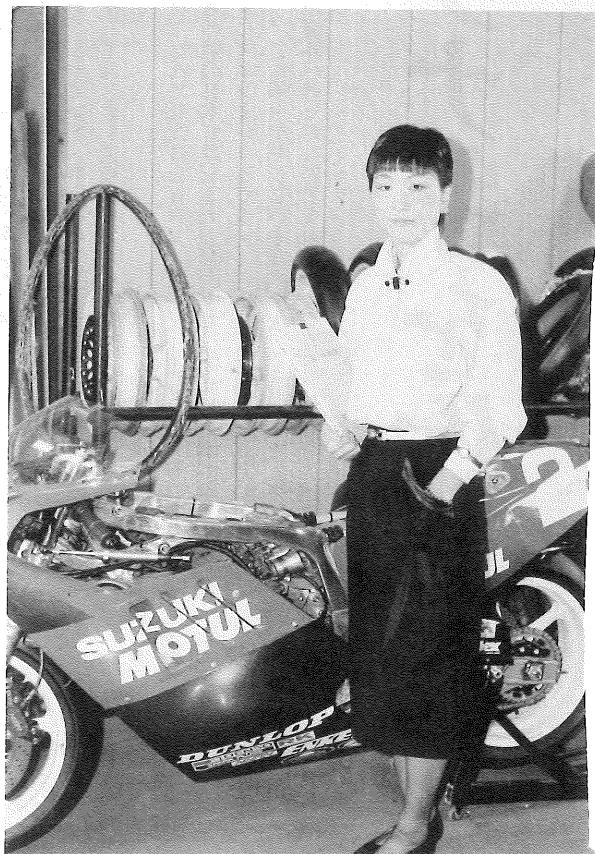
けれど、近くに10万円の物置きを置いてそこに商品を入れて、注文に応じて家の中で包んで発送してました。丁度妊娠中だったので大変でした。集合管とか大きなものは、主人が仕事から帰ってから梱包してくれていました」
この通信販売は徐々に大きくなり、次の年には店を構えるまでに成長した。
54年、ヨシムラ・ジャパンが再び日本に設立され、加藤氏はその後入社することになったのである。
「レーサーというのは確かに危険な仕事です。でも何十万人に一人という割合で本当に好きなことができるなんて、男の人にとって最高の仕事だと思いますね」
レース界でつらい体験をし、それでもなおバイクに関わる仕事を続けていかなければならない今、昔を振り返っていたらやっていたら彼女が言う。
「明日、陽平を連れて竜洋テストコースへお花を供えに行こうと思ってるんです」
事故当時6歳だった陽平君は、今年で、すでに11歳の誕生日を迎えた。

▶ヨシムラジャパン本社にて。仕事場ではバリバリのキャリアウーマンである



「高2のときでした、会社の人が運転する車に乗っていて、事故に会ったんです。ひどい正面衝突で、顔に大けがをしてしまった。その頃はまだ乙女でしたから、すごいショックでね。部屋にとじこもって3日間くらい泣いていた記憶があります。4回手術をして、今はそれほど目立たなくなりましたが、それまではマスクをして学校へ行ったりしていたんです」
結婚して一年後、23歳という若さで胃かのような手術をしたのも、その頃の精神的疲労が原因ではないかと由美子さんは言う。結婚したのは48年11月、彼女が22歳になって間もなくのことだった。
御主人の故・加藤昇平氏は、ヨシムラのパーツを使ってレース活動を行っていた青年のひとり。由美子さんがそのチームの会計等を担当していたことがきっかけで二人は知り会った。
「速かったですよ、彼は。ずっとプライベートルाइダーだったけれど、46年のジュニアクラスでチャンピオンになっているし、ドイツでもいい成績を残してるんですよ」
2年後、36時間という難産をのりこえて長男の陽平君を出産した。

▼さすがレース界のベストドレッサー。168cmのスラリとした体にはどんな服でもよく似合う。好きなブランドは「ヨシエ・イナバ」



昔のことは、

振り返らないようにしています

「中2まで九州の福岡で育って、そのあと『東京へ行く』という父の一言で、東京へ出てきました。とにかく昔の父は短気で、

頑固でした。今はそんなことないんですけど、当時なんか機嫌の悪い日は、ちょっとおかしな入らなかつただけで、お膳をバーンとひっくり返してしまったり。そばを見ていて、母がとってもかわいそうでした。だけど本当によく父について行っただけです。父があそこまでやれたのも、母がいたからこそです」
お母さんは、最近直接ヨシムラの仕事はしていないが、由美子さんが出張などで忙しいときは、息子の陽平君の面倒をみたり、いろいろ協力してくれているという。

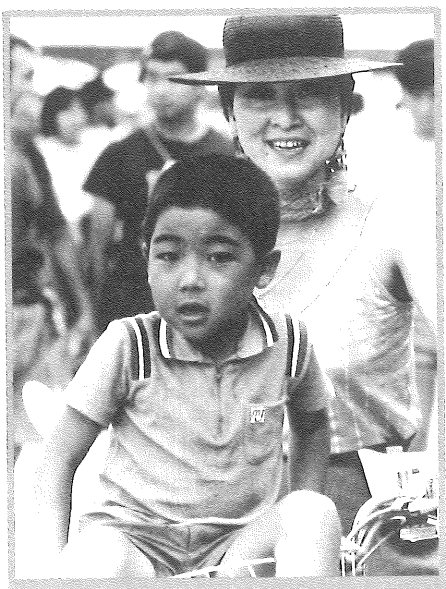
しかし彼女は、亡き夫のポストを受け継ぎ、ヨシムラ・ジャパンという一企業の活動の中枢を担っている。
* * *

「わががわがわがという感じがする。立ち直るまで3年くらいかかりました。バイクを見るのもいやだったし、ヨシムラの仕事はもうやりたくない、というのが正直な気持ちだったんです」
ヨシムラ・ジャパンという一企業の活動の中枢を担っている。

「私が病室に着いてから10分後、主人は亡くなったんです」

56年11月22日。当時ヨシムラ・ジャパンの専務取締役だった加藤昇平氏は、浜松の竜洋テストコースでヨシムラ・スズキGS1000Rのテスト走行中に転倒し、同日夕刻に入院先の病院で手当てのかいなく32歳という若さでこの世を去った。
「わががわがわがという感じがする。立ち直るまで3年くらいかかりました。バイクを見るのもいやだったし、ヨシムラの仕事はもうやりたくない、というのが正直な気持ちだったんです」

▼一人息子の陽平君と。「とても母親思いで、お米も洗って炊いておいてくれるんですよ」



加藤由美子

ポップ吉村の次女であり、ヨシムラジャパンの専務取締役。5年前、夫の加藤昇平氏を事故で亡くし、現在は5年生になる一人息子の陽平君と二人で暮らしている。35歳、B型。